

クールアースいばらき2025大会 開催報告

～脱炭素の最前線、茨城から発信～

2025年8月22日、茨城県地球温暖化防止活動推進センターの主催により、「クールアースいばらき2025大会」がホテルレイクビュー水戸で開催しました。この大会は、地域で脱炭素や環境保全に取り組む団体が一堂に会し、持続可能な未来に向けた活動を発表する場として毎年開催されています。

今年も多数のエントリーがあり、事務局による一次選考を経て、4団体が登壇しました。当日は、茨城県地球温暖化防止活動推進員やエコカレッジ職域コース・アドバンスコースの受講者等が来場し、各団体の発表に対して投票を行いました。その結果、「最優秀賞」と「優秀賞」が選出されました。なお、最優秀賞を受賞した団体は、2026年2月20日(金)に開催予定の「脱炭素チャレンジカップ2026」(主催:温暖化防止全国ネット、後援:環境省・文部科学省)に、茨城県代表として推薦される予定です。



表彰式

★最優秀賞★

株式会社フットボールクラブ
水戸ホーリーホック

「新しい原風景をこの街に」

- ・GXプロジェクト、再エネ活用で年間60tのCO₂削減
- ・スポーツの力で地域と環境をつなぐ取り組み

※脱炭素チャレンジカップ2026 茨城県代表として推薦



★優秀賞(3団体)★

・長方屋

「いば食有効活用プロジェクト Part2」

・キャノン化成株式会社 施設環境部

「省エネで未来を照らす持続可能な組織づくり」

・段ボールコンポスト普及会

「段ボールコンポストでSDGs学校花壇作り」



本大会は、地域の企業・団体がそれぞれの立場から創意工夫を凝らし、脱炭素社会の実現に向けて取り組む姿勢を広く共有する貴重な機会となりました。教育、農業、製造業、スポーツなど多様な分野からの参加により、茨城県の環境活動の広がりや深さが改めて示されました。

今後も、地域の力を結集し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

クールアースいばらき2025大会 出場団体及び取組内容

段ボールコンポスト普及会 資源循環教育「段ボールコンポストでSDGs学校花壇作り」



学校給食の残渣を堆肥化し、できた堆肥で花壇を作る「資源循環教育」を推進するため、つくば市内小中学校2校と1施設の理解と協力を得て「段ボールコンポストでSDGs学校花壇作り」を企画しました。子供たちが体験する微生物による堆肥づくり、それを使っての「SDGs花壇」はごみ削減や温暖化防止、食品ロスへの関心を高め、多くの学びに繋がりました。学校の一角に花が咲き、子どもたちの癒しの場、共に花を守り育てる気持ちを育む場となっています。

長方屋 「いば食有効活用プロジェクト Part2」



稲作が盛んな茨城県では、稲刈り後のもみ殻が地域組合へ多量に運び込まれるが翌年の新米季節前に焼却処理となる。このもみ殻を何とかしてほしいとJAから相談を受けた。弊社では、燃やさない熱分解処理でパウダーにしてみたところ90%がシリカだった。そして「シリカサプリメント穂の華」が誕生し、ふるさと納税返礼品に。

Cycle成功で更に増えるもみ殻。社長は人の健康に欠かせないシリカに没頭する。その結果、入浴剤の他、茨城ブランド猿島茶メーカー松田製茶とコラボ。試行錯誤の結果、シリカパウダー入り「5種類のブレンドTea」開発に成功。アップサイクルと削減できたCO2は年間約50t。

株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホック 「新しい原風景をこの街に 気候アクション脱炭素の実装」



当クラブは夢と感動と一体感の共有に向けて、地域に根ざし、地域と歩み、地域に貢献し、地域と共に発展することがビジョンです。脱炭素につながる催しとしては、2020年のコロナ禍前10年間、ペットボトル分別回収を毎試合実施。子供たちの夏休みエコ工作は2010年から3試合続けています。昨シーズンから「デコ活チャレンジカップ」に賛同し、サポーターは22.5tCO2を削減。

また、事業系として農事業の地域課題解決に向けてGXプロジェクトに邁進。耕作放棄地を再活用したソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）を開発。起こした再エネ電力を地域で使うGX圃場が誕生しました。上記脱炭素アクションにより60tCO2削減につながりました。

キヤノン化成株式会社 施設環境部 「製造業としての責務～省エネで未来を照らす持続可能な組織づくり～」



キヤノン化成株式会社では温室効果ガス削減に貢献するため省エネパトロールや省エネ診断を実施し継続的に省エネ活動の改善を図っております。

この活動を通じて各職場自走の省エネ活動を実施しエネルギー削減への意識が向上しております。

製造部門、技術部門、品質部門、管理部門の各職場が連携・連動し、持続可能な省エネ体制が構築された結果、毎年約2,500tCO2以上の削減効果を得ております。